

事務事業名	老人保護措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課
政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	高齢者福祉G	課長名	田中 秀信
施策名	〈21〉高齢者福祉の充実	担当者名	高橋 雄司	電話番号	0854-40-1042
目的	65歳以上の市民	意図	生きがいを持って、住み慣れた地域で安心して暮らす。	(内線)	2151
基本事業	〈060〉地域ケア体制の充実	予算科目	0:1 1 5 0:1	大事業名	老人保護措置事業
目的	65歳以上の市民	意図	住み慣れた地域で安心して暮らす。	中事業名	老人保護措置事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
65歳以上の者	養護老人ホーム等へ措置することにより生きがいのある自立生活を支援する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	老人福祉法の規定に基づき、環境上及び経済的事情等により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホーム等へ措置し自立生活を支援する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
【入所まで】入所の相談、申請受理、面接、判定会資料作成、判定審査、待機者台帳の管理、入所時の立会い入所支援 【入所後】費用徴収事務、費用負担額の決定、台帳管理、措置費支払い	H22年度から宇寿荘の設置者が市から法人に移管し、宇寿荘に係る措置費についても、これまでの指定管理事業から移行した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 養護老人ホームに新たに入所した者数	人	20	7	14	18
イ 年度末現在の措置者数	人	98	94	88	95
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
扶助費 175,694千円	国庫支出金	千円				
【その他財源】	県支出金	千円				
措置費負担金52,291千円	地方債	千円				
	その他	千円	51,162	54,197	52,291	58,781
	一般財源	千円	138,280	134,582	123,403	142,227
	事業費計	千円	189,442	188,779	175,694	201,008

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	生活環境や経済的な理由により自宅で自立した生活を送ることが困難な高齢者について、施設入所の措置をすることにより、高齢者が安心して生活するための大きな役割を果たしている。
② 事業実施するうえでの課題	要介護の認定を受けているの者や認知症高齢者からの申請が増加傾向で、入所待機中に身体状況の悪化により介護度が高くなったり、認知症の症状によっては養護老人ホームでは対応できない場合がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	法令に基づく事業であり、現状により継続実施していく。 介護度の高い入所待機者はケアマネジャー等と連携し介護施設の入所を検討する必要がある。